



# 県評しずおか

## 静岡県労働組合評議会

〒422-8062  
静岡市駿河区稲川2-2-1  
セキスイハイムビルディング7階  
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973  
Eメール [kenpyo@mail.wbs.ne.jp](mailto:kenpyo@mail.wbs.ne.jp)

### 患者を守るためには 医療者自身も健康でなければ

—静岡県ナースウエーブ集会—

ナイチンゲール誕生の5月12日(日) 静岡産業経済会館にて、静岡自治労連・県医労連・静岡厚生病院労組の3団体で構成する県看護連絡会は、ナースウエーブ集会を開催し100名が参加しました。

講演は「『働き方改革』に今、過労死を考えると題して、中原のり子さん(前過労死遺族会東京代表)が行いました。

中原さんの御主人は小児科医でしたが、小児科部長になった時、それまでの小児科医の半数で診療を行わなければならなかった事による過労からの自死されました。中原さんの辛い胸中は涙なしでは聞けません。講演会后、歩行者天国の



繁華街で「看護師を増やせ」と白衣でパレード=12日、静岡市葵区



ご自身の辛い胸中を話される中原のり子さん

原さんの講演はとても良かった。どこの会社も殺すために働かせているわけではない。しかし一人の犠牲者が出たらその職場は必ず二人目が出る!と聞いてびっくりしました。当院からは絶対過労死を出さない、組合は職員もその家族もみんなを守る、そんな強い気持ち

### 子どもたちへ 安全安心な地球環境を

第57回静岡県母親大会

5月19日、焼津市で静岡県母親大会を開催され1600人が参加しました。65年前のアメリカのビキニ水爆実験への怒りを契機に始まった母親大会の原点の地での開催でした。

実行委員会あいさつでも、核兵器廃絶、平和への願い、命を守る運動への情熱が語られました。午前のシンポジウムでも地元での署名運動の苦勞、声を挙げることの重要性が語られました。午後の

全体会での第五福竜丸元乗組員池田正穂さんへのあいさつへとつながりました。

午前、21の分科会は事前の丁寧な準備などもあり、それぞれ熱心に学び合い盛況でした。

午後の全体会の講演は、料理研究家の枝元なほみさんが行いました。

とても自然体で親しみのある話し方に参加者は魅了されました。種子法改悪や



### ヒバクシャ国際署名を すすめる静岡県連絡会

5月11日(土) ロッキースター会議室にて、ヒバクシャ国際署名をすすめる静岡県連絡会の総会が92人の参加で開催されました。記念講演は「核兵器はなくせよ」ICAN川崎哲さんに聞きました。

折しもNPPT準備会が開かれている最中であり、対立ばかりの準備委員会となり、各国が合意点を見いだすことができなかったと報じられていました。核兵器禁止条約は、核不拡散条約の更に突き詰めた「核を禁止し、廃絶すること」を目的としています。核保有国が「抑止力」の名の下に「核兵器禁止条約」を批准しないことが、日本政府の判断にも影響していることは、平和を願う国民にとつてなんともやりきれないものです。

### 核はなくせる!

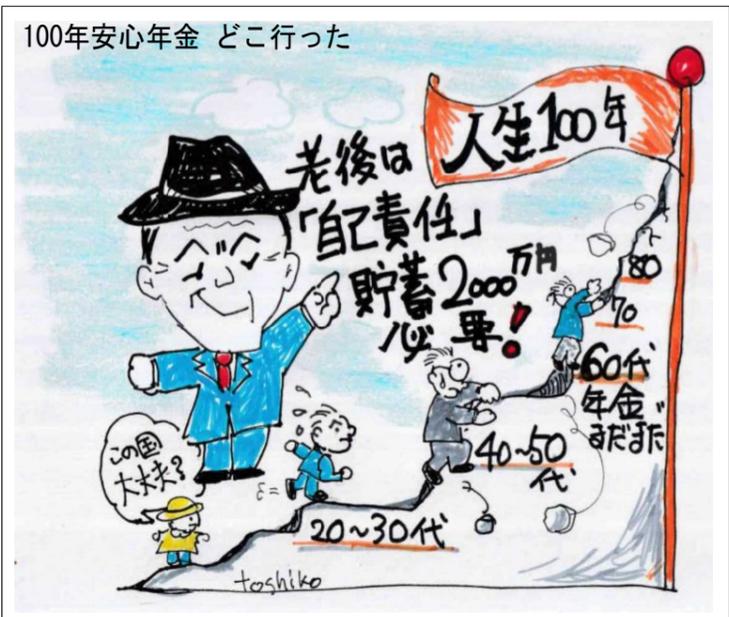
の準備委員会となり、各国が合意点を見いだすことができなかったと報じられていました。核兵器禁止条約は、核不拡散条約の更に突き詰めた「核を禁止し、廃絶すること」を目的としています。核保有国が「抑止力」の名の下に「核兵器禁止条約」を批准しないことが、日本政府の判断にも影響していることは、平和を願う国民にとつてなんともやりきれないものです。



「核抑止力」という考え方が抜け出すことが平和な世界の実現につながると述べる川崎さん11日

る意識を持つことを訴えかけられました。「食べることが生きる」とは、まさに「生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」につながるものでした。

参加者は、来る8月、静岡県で開催される『日本母親大会』への参加を確認しました。



滅びることは誰しもわかっていて、社会はまともに変化していくことで、核兵器はなくせる!と。そのためにも、核兵器の実感のない次世代に広げること、地方から政府への働き掛けを与党にも踏み込んで、強めることが必要です。

ヒバクシャ国際署名は、誰でもどこでも参加できる運動の基本です。平和に対してグズグズしている政府の背中を押す「ヒバクシャ国際署名」を広げましょう。

静岡では、毎月7日12時~13時に東急スクエア前で署名宣伝活動をしています。ぜひ、ご参加ください。

「わくわく講座」開講式

日時：2019年 6月23日(日)  
11時~15時30分  
会場：西部地区労連(労働会館)  
講義：ナショナルセンター全労連の運動と組織・働き方改革

# 核兵器のない世界を訴え、 県内平和行進

## 2019年 原水爆禁止平和行進



行進1日目のまとめの集会=19日、熱海氏渚公園

今年も原水爆禁止平和行進は5月6日東京夢の島を出発し、5月19日に神奈川県から静岡県に引き継がれました。13日間にわたって県内を回り、5月31日に愛知に引き継ぎました。

暑かったり、大雨だったりと大変な日もありましたが、通し行進の小林さんの元気さ、フイリピンから参加したチャリティー・サンタ・マリアさんの明るさ、ギターやアコーディオンの伴奏によるにぎやかな歌声の中、「こんにちは、平和行進です」の声を響かせました。また、核兵器禁止条約の批准国が増えていること、一方日本政府が背を向けていることやアメリカが未臨界核実験を行ったことなどへの怒りを訴えて歩きました。

参加人数は延べ2000

暑かったり、大雨だったりと大変な日もありました。行進者に対する募金も8万円集まりました。賛同のペナントも首長は27氏、議長も25氏からいただきました。

平和行進は、8月の原水爆禁止世界大会にむけて、東京から広島をメインコースに、また全国各地で行われており、核兵器廃絶の声を大きく響かせています。県評加盟の組織、単組からも要員はじめ多くの参加がありました。

### 福島第一原発事故は終わっていない

#### 浜岡原発停止8周年行動

5月14日(火)浜岡原発廃炉・日本から原発をなくす静岡県連絡会は、「浜岡原発停止8周年行動」を開催し、宣伝行動と、浜岡原発をとりまく問題について、中部電力および静岡県に要請・懇談を行いました。10時より静岡県原子力安全対策課に「浜岡原発の再稼働に地元同意や、安全協定による事前了解に対して県の姿勢を「広域避難計画について、実効性あるものとしていくよう」などを要請しました。県からは「再稼働は県民の安全・安心が確保されることが大前提である」等の回答がありました。12時より、静岡駅北口の地下道で宣伝と署名を行い25名が参加しました。原発なくす静岡の会の林克代表(前県評議長)は「8年前のこの日に浜岡原発は停止した、この日を祝



### 職場の安全衛生を実現するために 静岡県安全健康センター No.62

#### 化学物質と職業がん

来る6月22日(土)いのちと健康を守るセンターの第6回東海4県ゼミナールが開かれます。今年も静岡の当センターが主催します。記念講演は、堀谷昌彦氏の「化学物質と労働・職業がん」です。講師の堀谷さんは元化学一般労連中央執行委員長で、現在職業がんをなくす患者と家族の会事務局長をされています。福井県でオルトトルイジンによる膀胱がんが多発した時、会社は労災隠しを図り、被災者に脅しや嫌がらせを... しました。このときいち早く支援する会を立ち上げ、労災認定の流れを作り出しました。その後厚労省に薬品による膀胱がんの全国調査をさせ、その中で分かったのが静岡県富士市のクマイイ化学で使用した薬品(モカ)を原因とする膀胱がんが多発です。現在労災認定の方向で進んでいます。薬品による労災事案愛知からは1.労働行

### 残業時間の削減を 静岡県労働研究所 No.51

リラッキング 使用済み燃料の貯蔵能力を増強するために、使用済み燃料プール内で核燃料を貯蔵するラックの間隔を狭くして収納密度を高めること... 定例研究会が5月16日に開催され「働き方改革関連法」と労働相談の実例から」と題して河合利夫氏が報告しました。労働時間・休日関係のポイントは以下の通りです。①時間外・休日労働の上限(月45時間、年360時間)を法律で定める、36協定の書式や特別条項の要件も変わります。特別条項の範囲は、単月では... ②健康確保のため労働時間の状況を客観的に把握する事を使用者に義務付けています(管理職、裁量労働制適用者も対象) ③年次有給休暇の付与日数が10日以上ある労働者に対し、年5日の有給を取得させることを使用者に義務付けています。 ④勤務間インターバルを... 労働相談の実例として、ある飲食店では45時間以上の残業代は支給しないときとされて、それ以上の申告をさせない指導があり、実際は月100時間の残業が行われていました。 ⑤フレックスタイム制度の清算期間が1ヶ月から3ヶ月に延長されました。 ⑥高度プロフェッショナル制度を創設しました。 昨年6月、日本航空の株主総会で植木会長は「組合とも誠心誠意話し合っていく」と約束をしました。しかし「解決に踏み出す」とした会社の提案は、JALでの再雇用対象に被解雇者も含めるといっただけで、実際には1名しか採用



街頭で訴える菊池県評議長

6月4日、静岡において、国労が中心となり、島田・藤枝・焼津・清水駅前と静岡市葵区のけやき通りで、原告団2名も参加して宣伝を行いました。